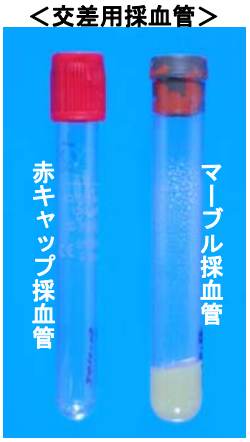
NO. 2010. 05 号
発行日：2010 年　9 月　24 日

検査のパレット

今回は輸血のオーダーが出た際の検査室での流れをお話しさせていただきます。

＜交差用採血管＞



＜輸血前検査＞

輸血前検査として下記の 3 つの検査を当院では行っています。

① 血液型　　② 不規則抗体スクリーニング　　③ 交差適合試験

この検査は輸血のオーダーが出た際に採血される右図の 2 本の血液で検査しています。2 本のうち赤キャップ採血管は交差用に使用します。マーブル採血管は輸血後肝炎検査の保存用として使用しています。

＜オーダーから出庫までのおおまかな流れ＞

オーダー

Dr が電子カルテで輸血オーダーをすると検査室では自動的に輸血伝票が出力され、これを技師が見てから Dr に電話で次の内容を必ず確認します。
患者氏名、製剤名、単位数、交差予定日、時間、至急の有無など。

⇩

製剤発注

血液型が不明の場合、血液型を調べてから血液センターへ発注します。
（最速で製剤発注から到着まで 30 分程度かかります。）
昨年より厚労省の指針により輸血を実施する場合は、2 回の異なった検体で血液型を確認する事が必要となりました。当院においても過去に 2 回以上血液型の検査をしていない時、依頼をかけていただいています。

⇩

製剤到着

製剤を対象患者へ割り当て、ラベルと伝票作成を実施します。

⇩

交差試験

交差試験には交差用採血管が必要です!!
交差用の血液は採血後 → 血清分離 → 血球洗浄（3 回）→ 血球浮遊液作成
この作業は交差試験を始める前に約 30 分かかります。
採血後は速やかに検査室へ下ろしてください。

⇩

適合

交差試験は血液製剤毎に異なる方法で行われるので、交差試験にかかる時間は製剤により異なります。

- 照射赤血球濃厚液の場合…40 分
- 新鮮凍結血漿の場合…10 分
- 照射濃厚血小板の場合…10 分

⇩

出庫

※ただし、発注、血球洗浄等も含まれる場合は上記の時間に更に 30 分程度かかります。
なお、上記の流れは通常の場合です。至急の場合は検査室にご連絡ください。

次回は交差試験、不規則試験についてお話します。今後とも検査室を宜しくお願い致します。

文責：小西　富美子　　監修：石竹　久仁